

主題について

ねらいとする価値

友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築される。児童にとって、友達関係は重要な人間関係の一つである。よりよい友達関係を築くために、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情を育んでいくことが大切である。そのため、一緒に勉強したり仲よく遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ね、友達と仲よくする大切さをより実感できるように配慮することが必要である。

児童の実態

- ① 児童はこれまでに「個性の伸長」の内容項目で、自分の特徴や友達のよいところに気付いて、お互いを大切にしようという思いをもつことができた。
- ② 本学級の児童は、友達と声をかけ合って遊んだり、困っている人にやさしく接したりできる。「友だちっていいなと思うのはどんなときですか。」というアンケートの結果から、遊ぶ時、助けてくれた時、やさしくしてくれた時という回答があった。困っている時に友達がいてよかったという経験を少しずつ積み重ねて友だちのよさを実感させていきたい。
- ③ 道徳科の時間では、自分の考えを積極的に述べるができる児童がいる一方で、自分の考えはもちながら友達の考えを聞くことに終始している児童もいる。

教材について

森の動物たちに乱暴していたきつねのこんきちが、おおかみに襲われた時に森の動物たちに助けられる内容である。最後の場面では、自分のことしか考えていなかった愚かさや仲間の大切さを実感し、こんきちはやまやみながら大泣きをする。森の動物達の行動やこんきちの変容を考えることを通して、友達と仲よくすることのよさについて考えさせる教材である。

考え，議論する道徳科の時間を充実させるために

○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入では、学校生活の中で友達と関わった経験を想起する発問をする。事前に「友達っていいなと思ったこと」のアンケートを取って、その結果を提示しねらいとする道徳的価値へと方向付けをする。

展開前段では、まず、動物たちはこんきちのわがままや乱暴に困っていることをおさえる。その後、こんきちがおおかみに襲われ助けを求めた時の、こんきちの思いや森の動物たちの迷いながらも助けた優しい気持ちに気付かせたい。中心発問では、自分の愚かさや気づき謝りながら大泣きをするこんきちの気持ちについて考える。森の仲間の行動によって、こんきちの心が変わることに気付かせ、友達と仲良く、お互いを大切にしようという思いをもたせたい。その際、ワークシートの活用やペアトークの場を設定することで多様な考えに触れることができるようにしたい。

展開後段では、導入のアンケートや日常の中で助け合っている場面や友達のことを思って行動している場面を写真で提示し、友達と仲よくするとはどういうことかを考えさせたい。そして、「ともだちはいいもんだ」を歌うことで、仲間のよさを感じさせたい。

○ 特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

「ありがとうようたさん」の学習後から、「自分のよいところ」や「班の友達のよいところ」をカードに書いて伝え合うことで、自分のよさを認識させたい。また、学級活動や日々の活動の中で助け合っている場面を児童が帰りの会で発表したり、教師が紹介したりすることで相手のことを考えて行動していこうとする気持ちを育てていきたい。

本時の学習

(1) 本時のねらい

森の動物たちの言動から、変容するこんきちの心情を考えることを通して、助け合っていくことの大切さに気付き、友達と仲よくしていこうとする心情を育てる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価
導入	1 友達と関わった経験を想起し、本時の学習のテーマを捉える。 ○どんな時に友達っていいなと思いますか。 ・一緒に遊ぶとき ・一人の時に声をかけてくれる <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">友だちとなかよくすること</div>	◇事前にアンケートをとり、結果を提示する。 ◇これまでの自分の生活経験を振り返らせ、交流することで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。
展開	2 教材「森のともだち」を読んで考える。 ○こんきちはどんなきつねですか。 ・いじわる ・乱暴者 ○おおかみにおさえこまれてびっくりしたこんきちは、どんなことを考えていたでしょう。 ・早く助けてよ。 ・もう、いじわるしないから。	◇場面絵を活用して登場人物の状況を確認し、人物の心情に寄り添って考えられるようにする。 ◇こんきちの叫び声を聞いて、動物たちがどんな相談をしたかも考えさせ、困っているこんきちをほっておけない思いに気付かせる。

過程	<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>●中心発問</p> <p>・予想される児童の心の動き</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>□発問の工夫</p> <p>*評価</p>
<p>展</p> <p>開</p>	<p>● 大声で泣き出したこんきちは、どんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助けてくれたのに逃げてごめんね。 ・ ぼくが自分勝手だったよ。 ・ ぼくを助けてくれてうれしかったよ。 ・ もう、いじわるはしないよ。だから仲よくしてね。 <p>3 自分の生活を振り返り、友達とのことについて話し合う。</p> <p>○ 友達と仲よくするとはどうすることでしょうか。仲よくするとどんな気持ちになるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 困っているときには、助けると気持ちいい。 ・ 喧嘩しても謝って仲よくするとうれしい。 ・ いいところを見つけて仲よく遊ぶと楽しい。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>□発問の工夫（共感的な発問）</p> <p>森の動物たちの言動から、変容した「こんきち」の気持ちを共感的に捉えさせることで、友達と仲よく助け合っていくことの大切さに気付かせたい。</p> </div> <p>◇ ワークシートに書く活動に取り組みさせた後、ペアで自分の思いを交流させる。学級全体で話し合い多様な考えに触れさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こんきちは、逃げたのにどうしてひきかえしてきたのでしょうか。（補助発問：分析的） ・ らんぼうなこんきちがやさしくなったのはなぜでしょうか。（補助発問：分析的） <p>* 泣いているいるこんきちの心情を考えることで、助けられた感謝や友達と仲よく助け合うことの大切さに気付いたか。（発言、ワークシート）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>日常生活体験から、友達と仲よく助け合うことの大切さに気付かせ、行動の価値付けをしていくことでこれからの意欲につなげていく。</p> </div> <p>◇ 学級遊びや日常生活の中で助け合っている場面を写真にとって紹介する。</p> <p>◇ 自分が親切にしたことやされたことだけでなく、そのときの気持ちも交流できるようにする。</p>
<p>終</p> <p>末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○ 今日の学習の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と仲よくするためには困っているときには声をかける。 ・ やさしく声をかけていろんな人と遊ぶ。 <p>5 「ともだちはいいもんだ」を歌う。</p>	<p>◇ 「今日の学習から分かったこと」や「もっと仲よくするためにできること」などを振り返りの視点として提示する。</p>

(4) 板書計画

テーマ 友だちとなかよくすること

なかよく
たすけあつて
たのしく

森のどうぶつたち
友だちがふえて

大よろこび

こんきちのすがたを見ると
みんなにげてしまうようにな
りました。

こんきちのさけびごえをきくと、ひ
とところにあつまりました。そうし
てなにかそうだんしています。

ぴよんこをたすけようとひと
かたまりになっておおかみに
たいあたりしました。



大なき
ごめんよ。
ごめんよ。



・たすけてくれたのに、にげ
てごめんね。
・ぼくが、わるかったよ。
・もう、いじわるはしない
よ。だからなかよくしてね。

- ・こまっているときにはた
すける。
- ・けんかしてもあやまって
なかなおりする。
- ・いいところを見つけてな
かよくする。



わがまま
らんぼうもの
たすけてくれ!



・早くたすけにきてよ。
・やられちゃう。
・もう、いじわるしないから。

みんなは
どうしてかるかなあ。
はずかしい

こんきちは
さっとにげました。